

令和元年8月8日

令和元年度第5回教育委員会定例会会議録

鹿児島県教育委員会

令和元年度第5回教育委員会定例会会議録

日時 令和元年8月8日(木)
13時00分～14時35分

場所 教育委員会室

出席者

東 條 教 育 長	森	教 育 次 長	長
島 津 委 員	前 田	務 校 職 員	長
今 村 委 員	玉 利	務 校 職 員	長
原 之 園 委 員	橘 木	務 校 職 員	長
石 丸 委 員	池 田	務 校 職 員	長
堀 江 委 員	山 本	務 校 職 員	長
	福 中	務 校 職 員	長
	西 村	務 校 職 員	長
	久 木	務 校 職 員	長
	岩 上	務 校 職 員	長
	石 田	務 校 職 員	長
	岩 下	務 校 職 員	長
	紺 宮	務 校 職 員	長
	野 村	務 校 職 員	長
	河 瀬	務 校 職 員	長
	黒 田	務 校 職 員	長
	荒 島	務 校 職 員	長
	中 堂	務 校 職 員	長

議 決 事 項

件 名	提 案 理 由	審議の状況	採決の次第
<p>議案第1号 令和元年度地域が育む「かごしまの教育」県民週間表彰（ポスター原画・標語）の被表彰者（校）の決定について</p> <p>議案第2号 学校職員の懲戒処分について</p>	<p>令和元年度の地域が育む「かごしまの教育」県民週間表彰（ポスター原画・標語）の被表彰者（校）の決定をしようとするものである。</p> <p>学校職員の非違行為について、教育公務員としての責任を問おうとするものである。</p>	<p>特記事項なし</p> <p>特記事項なし</p>	<p>決 定</p> <p>決 定</p>

会 議 要 旨

1 開会

2 会議の公開等について

議案第1号、議案第2号及びその他(6)については、非公開で審議する旨、教育長から発議があり、全会一致で議決された。

3 令和元年度第4回教育委員会定例会の会議録の承認

承 認

4 その他

(1) 令和元年度全国学力・学習状況調査の結果について

(義務教育課長) 令和元年度全国学力・学習状況調査の結果について説明

(島津委員) 小学校の学力問題は、若干、改善されたような感じは受けるが、中学校は依然として厳しい状況である。小学校の時のテストの出来具合が中学校と比べて、どのように変化しているのか、という経年変化についてフォローしてほしい。小学校での課題を中学校まで引きずっているのではないかと思う。

また、英語力については厳しい状況であるが、英語力向上の取組について課題があれば教えてほしい。

さらに「かごしま学力向上支援Webシステム」は非常に良いシステムだと思うので、これを上手く活用できれば良いが、システムを活用している先生が集まって、研修会をしているような事例はあるのか。

(義務教育課長) 経年変化については、全国学力度調査や定着度調査、国や県が実施しているNRTという学力検査によると、多くの学校は、やはり中学校で成績が落ちている。この要因として、鹿児島県の特徴で、小学校までは小規模校が多くあり、個別指導のような指導形態であったが、中学校で大きな学校に集まると、個別指導という形ではなくなるため、学力が落ちるといった課題がある。その課題を改善する意識を持って、取り組んでいきたい。

英語力は全国平均に比べて、マイナス3.0という結果が出ているが、この差は、今まで問われてこなかったような新しい形式の問題に対応できなかったということがある。今回の全国学力調査の英語のような類題を出していくなどして、授業を変えていく。結果の詳細な分析は行っていないが、書く力や表現をする力という部分が、本県では全国を下回っていたので、各学校の英語の授業でそのような力を伸ばすような授業が本当にできているのか、そのような問題を解けるような授業を普段から行っているのか、そのような授業ができるように授業改善の意識を高めていきたい。

さらに、教員の資質について、英語能力の不足が、この学力調査の結果の一つの要因として挙げられる。8月に国が実施してい

るオンライン・オフライン研修というものがあるが、本県では、鹿児島市、鹿屋市、奄美市の3つの会場を使って、各地区から、中学校の英語の教員を集めて、オンライン・オフライン研修を今年度中に行う予定である。研修の中で、目標とされている英検準1級レベルを取れるような能力や英語指導力の向上を図る。

Webシステムだが、上手く活用をしている取組として日置市が、今週の1問ということで、システムに掲載されている問題を配信して、問題を解かせて、正解できているかどうかを確認するという事例がある。県教委としては、そのような事例を各市町村に紹介しており、時期が遅かったかもしれないが、今年度の4月から同様に実施している市町村も増えてきている。

(島津委員) Webシステムを活用している先生同士の研修会はあるのか。

(義務教育課長) 未来を開く鹿児島の教育シンポジウムというものがあり、その中で学力向上を目指した研修があった。また、8月下旬に学力向上フォーラムというものもあり、そこでWebシステムの問題を活用した取組事例が紹介されるので、各学校に広げていきたい。

(原之園委員) 一つ目は、先生方の意識改革である。全国の試験がある中で、それに向けてどのような意識を持って取り組んでいくか。研修等で意識改革を行う必要があると思うが、県としてはどのような取組を行っているか。

二つ目は、Webシステムである。今は限られた先生が、学校の中でしか見られない状況であるが、皆が見られるようにはならないものか。今後、学校教育だけでなく、家庭教育の段階でもWebシステムを活用できるようになる可能性はないものか。

(義務教育課長) 全国学力調査の結果あるいは学力向上について、意識改革を行わなければならない段階になっている。去年は、非常に重い結果が出て、県の教育委員会及び事務所が、市町村教育委員会を回ったり、学校訪問も実施したりして、教育委員会あるいは管理職の意識改革を行ってきた。今年度の4月からの状況を聞いていると、意識は大分変わってきているというのは聞いている。去年の秋ぐらいから、そのような取組を始めたことで、今回の小学校の結果が出たのではないかと思う。小学校では子供たちを集めて補習をしたり、Webシステムの問題を解かせるなどして、結果が出てきているところではある。一方で、中学校ではまだ取組が十分ではなかった。年間を通して、長期的、計画的にやらないと結果が出ないということが分かったので、そこに注意し、意識改革を行ってまいりたい。

Webシステムは、現場の教員がシステムで自由に問題のダウンロードを行ったり、結果を見られるようになっている。教員は、自分のパスワードを入れて見れば、自分の学校の結果と市町村の結果を見れるようになるが、家庭でもこれができるようにすることは少し難しい。ただ、こちらからWebシステムの問題を紹介

という形で行うことはできるかもしれないので、そのような方法を考えていきたい。

(2) 令和2年度県立高等学校・県立特別支援学校使用教科書の採択結果について
(高校教育課長) 令和2年度県立高等学校・県立特別支援学校使用教科書の採択結果について説明

(島津委員) 教科書は非常に多くの種類があって、個別には分からないところがあるが、今年の特徴的な傾向があれば教えてほしい。

(高校教育課長) 学習指導要領が変わっていないので、例年に比べて大きな変更はない。

(島津委員) 教科書自体の作りは若干変わっているところはあるか。

(高校教育課長) ICTの記述がある教科書が増えており、ICTに取り組んでいる高校については、そのような教科書を採択している学校もある。

(3) 令和元年度鹿児島県産業教育審議会について

(高校教育課長) 令和元年度鹿児島県産業教育審議会について説明

(島津委員) 現在、文部科学省も普通高校の魅力化や地域との協働による高校の改革を進めているが、そのような中で、この産業教育の在り方というのはしっかりと見据えて考えていく必要がある。そういうことを考えたときに、この三つのテーマは、どれも非常に重要なテーマだと思うが、テーマが1年に一つずつということは、個人的には、間延びをするのではないかという印象がある。

(高校教育課長) グローバル化、技術革新、地域を支えるというテーマを設定しているが、地域を支えるというテーマについては、年度ごとに充実させていくということで3年としている。

(島津委員) 共通テーマということか。

(高校教育課長) そのとおりである。グローバル化と技術革新についても、グローバル化は今年のテーマであるが、技術革新についても総合的に議論していただき、年度ごとに御意見をいただいて、充実させていく。

(4) 令和2年3月県内公立及び国立中学校等卒業予定者の進路希望状況について
(高校教育課参事) 令和2年3月県内公立及び国立中学校等卒業予定者の進路希望状況について説明

(島津委員) 希望者の全体数の減少という状況がある。個別の学校では、前年対比で見ると、希望者数が増加した学校があったり、減少した

学校がある。希望者数が増加した学校は地元との色々な連携が上手く取れている等、何か特徴があると思うが、そのような特徴を生かす工夫をそれぞれの学校で考えていく必要があるのではないかと思う。

(高校教育課参事) 全体の傾向としては、生徒数の減少に伴って、希望者数の減少ということがある。その中で、厳しい状況ではあるが、様々な取組で希望者数が増加している学校もある。例えば、今年度、新たに加世田常潤高校の食農プロデュース科という学科を設置したが、昨年度より希望者が若干増加したということがある。あるいは、福山高校では、数年来非常に厳しい状況だったが、学校で様々な取組を行なったところ希望者数が増加している。

(原之園委員) 地元と協力しながら、個別に検討していくということによろしいか。

(高校教育課参事) そのとおりである。

(5) 令和元年度全国高等学校総合体育大会総合開会式について

(高校総体推進室長) 令和元年度全国高等学校総合体育大会総合開会式について説明

5 議案

議案第1号 令和元年度地域が育む「かごしまの教育」県民週間表彰（ポスター原画・標語）の被表彰者（校）の決定について

(非公開)

議案第2号 学校職員の懲戒処分について

(非公開)

6 その他

(6) 教育委員会の事務の点検・評価について

(非公開)

7 閉会